

大正八年全従業員に對する循環器病患者表

病名	一月				二月				三月				四月				五月				六月				七月				八月				九月				十月				十一月				十二月				合計			
	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率												
心臓病	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
心臓以外の心臓病	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
動脈硬化	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
肺動脈水腫	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
静脈水腫	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
肺水腫	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
心臓以外の循環器病	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
計	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
全従業員	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100	1	1	100	100								
全患者の百分率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100									
全従業員の百分率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100									

病名	全患者	全従業員	全患者の百分率	全従業員の百分率
心臓病	1	1	100	100
心臓以外の心臓病	1	1	100	100
動脈硬化	1	1	100	100
肺動脈水腫	1	1	100	100
静脈水腫	1	1	100	100
肺水腫	1	1	100	100
心臓以外の循環器病	1	1	100	100
計	1	1	100	100
全従業員	1	1	100	100
全患者の百分率	100	100	100	100
全従業員の百分率	100	100	100	100

病名	大正七年		大正八年		大正九年	
	人数	率	人数	率	人数	率
1 齒病及び繼發病	100	100.0	100	100.0	100	100.0
2 舌炎	10	10.0	10	10.0	10	10.0
3 扁桃腺炎	10	10.0	10	10.0	10	10.0
4 口腔及び咽頭病	10	10.0	10	10.0	10	10.0
5 唾腺病	10	10.0	10	10.0	10	10.0
6 消化不良	10	10.0	10	10.0	10	10.0
7 胃加答兒	10	10.0	10	10.0	10	10.0
8 胃瘰	10	10.0	10	10.0	10	10.0

大正七年初より
同九年末に至る

従業員の疾病調査

其の五

(栄養器病の部)

一、栄養器系統疾患の種別

栄養器系統の疾患は、呼吸器系統のものと共に、本電気局従業員を襲ふこと極めて多く、随つて其の能率の上に至大の影響を與へてゐる。

大正七年から同九年に至る三年間の本病の種別は、當時の所定に随ひて左の二十七種とした。

- 1 齒病及び繼發病
- 2 舌炎
- 3 扁桃腺炎
- 4 口腔及び咽頭病
- 5 唾腺病
- 6 消化不良
- 7 胃加答兒
- 8 胃瘰

- 9 胃潰瘍
- 10 胃癌
- 11 胃擴張
- 12 腸加答兒
- 13 腸網膜ヘルニア
- 14 腸閉塞
- 15 盲腸炎及び盲腸周圍炎
- 16 寄生蟲病
- 17 加答兒性黄疸
- 18 肝二口蟲病
- 19 肝硬化症
- 20 其の他の肝膽囊及び膽管病
- 21 急性腹膜炎
- 22 腹膜結核
- 23 痔瘻

- 24 痔核
- 25 直腸及び其の周圍諸病
- 26 常習便秘
- 27 其の他の營養器病

一、營養器系統患者と従業員及び總罹病者との關係

其の一、總従業員との關係、(第一表參照)

- (一) 大正七年から同九年に亘る滿三年間に於いて、總従業員一萬人に對して、營養器病者は三三・九である。
- (二) 之を職業別に見るときは、罹病率の最高は守衛、傭員、小使及び給仕等の一群で、萬分の四〇・三。
- (三) 右に亞ぎて最高なるは乗務員にして、就中、運轉手は萬分の三八・八、車掌は三八・七。
- (四) 之に亞ぐものは信號人で三〇・六、それから職工で三〇・三。
- (五) 最も罹病率の低きは工夫で一四・三、その上が雜役夫にして一八・九。
- (六) 之を要するに電氣局従業員の各種の職業中、あまり身體的勞働に従事せざる守衛や給仕や小使、傭員のうちから最も營養器病者を多く出してゐるのは、これ恐らくその本來又は平素の虛弱なる體質者が

雇用されてゐる故かと思はれる。次に乗務員が甚多く栄養器病に犯されるのは、どうしても職務上の影響が大きいものと認められるが、これには尙、その保健状態につきまして一大注意を加へねばならぬ。而て工夫は本病に就いても、最も安全なる状態にあるのは、他の場合と同じ。

其の二、總罹病者との關係、（第一表参照）

- (一) 總罹病従業員一百人に對して、栄養器病者は、平均二一・七。
- (二) その率の最高者は矢張り、守衛、給仕、小使、傭員の一群にして、二三・五。
- (三) 右に亞ぐものは乗務員で、就中、運轉手に於いては二三・二、車掌に於いては二二・七。その次は職工で一九・四、信號人は之につきて一九・二。
- (四) 最低率を有するものは、工夫で一七・七、その上が一八・八。
- (五) 之を要するに、各種の職業に於ける總罹病者中、本病者の最も多く存在するのは、例の守衛、傭員等の一群で次には乗務員及び職工、それから最も本病者の少きものは工夫である。

三、栄養器系統疾患と月次との關係

(一) 總従業員との關係、（第二表及び第三表参照）

- (一) 栄養器病は春三月頃から漸次、その數を増し、六月以後は劇増して、その七、八兩月が最高、そして十一月以後に衰へて、冬季中は沈靜してゐる。

て十一月以後に衰へて、冬季中は沈靜してゐる。

- (二) 之を數字的に云へば、平均は上述の通り、萬分の三三・九であるが最高は七、八兩月で夫れぐ四一・二及び四一・四。而て最低は、一月及び十二月で夫れぐ二四・七及び二七・四。

(二) 右の各職業別との關係

- (一) 車掌と運轉手と職工との三類は罹病高率の共通性一群をなし、他の三類は不共通性であり、殊に信號人に於いてはその變動差劇しく、工夫に於いては、殆、著しき變動がない。
- (二) 運轉手に於ける罹病率最高は八月で萬分の四九・一、最低は一月で萬分の二六・四。車掌に於いては七月が最高で萬分の四七・九、最低は十二月で三一・四。
- (三) 職工に於いては矢張り七月が最高で四二・一。最低は一九・〇。
- (四) 雜役夫の罹病法は、其の變差劇しくして、且、殆各月に高低起伏する最高は八月で二八・一、最低は三月で八・六。
- (五) 工夫に於いては最高が八月で一七・九。最低が一月で九・〇。
- (六) 信號人に於ける極度の劇しき變動は實に萬分の五〇・六（六月）と二二・九（二月）との間を往返し、殊に春夏秋に亘りて急増急減の曲線を示してゐる。
- (七) 右の六項を約して云へば、栄養器に罹る状態は、

- (1) 運轉手、車掌、職工に於いて多い。尤も殊に非労働者に屬する、守衛、傭員の一群が最高ではあるが、その實數の少き點に於いて、信號人と同様、今後、更に精査を必要とする。
- (2) 工夫が最も安全なる情態にあり、四季の影響も甚少い。
- (3) 時候に關しては一般に四月から十一月の間に多く、殊に七、八の兩月がその頂點に達する。

(三) 全罹病従業員との關係 (第四表及び第五表参照)

(一) 榮養器病者が各種の罹病者中比較的澤山出るのは、一年中の春三四月と、それから夏の七、八、九の三ヶ月とであるが、他病との割合につきては殆、大なる變化はない。即、大體に於いて、四季を通じて略、同じ割合に多いと言ひ得る。その平均値は百分の二十一・七である。

(二) 數字的にいへば、最高は九月で百分の二四・一、最低は一月で一八・七。

(四) 右の各職業別との關係

(一) 信號人の罹患率は例によりて極めて變動劇しきもので、百分の八・二(十二月)と五三・三(四月)との間を來往する。その一類のみは他のすべてと不共通にて、一般律を以て規することは出來ない。

(二) 雜役夫の本病發生法も各月に、可なり大なる變差ありて、最高は八月に於ける百分の二七・八、その最低は三月の九・七。

(三) 右の他の四種、即、車掌、運轉手、職工及び工夫は、相互に甚、共通性の曲線を示してゐる。そして

その各月に於ける高低差には甚しき變動が無い。就中、運轉手に於ける最高は九月で百分の二六・七、最低は一月で一八・五。又車掌に於いては、最高が矢張り九月で二五・三、最低は十二月の一九・四。

(四) 職工に於いては、最高は七月の二二・五で、最低は一月及び十二月の一六・〇であるが、その間に著しき變化なく、たゞ冬季のみ比較的低率であるといふに過ぎぬ。

(五) 以上四項を通觀するに、各種の疾病中、榮養器病者の發生は

(1) 運轉手、車掌、職工及び工夫の四種が共通性であり、信號人は極めて不定にして、雜役夫に於いても亦、随分變差は少くない。

(2) 右の四種共通性の罹病情態は、必しも本病に於ける特種のものにあらずして、實は他の場合に於ける共通性の一群(即乗務員と職工)と安全情態なる工夫とが更に相互接近したものに外ならない。

(3) 更に換言すれば、工夫は他の多くの場合に於いては、遙かに罹病率低くて、その點に於いて共通性の一群より遠かつてゐるのであるが榮養器病に於いては、平素罹病率の少き工夫のうちにも、本病には比較的犯されることが多く、第一群に接近したものと認められる。

(4) 本病が、各種の疾病中に存在する割合は、四季を通じて可成り多く、その上に於いて著しき變動はないが、就中、春と盛夏とが増加の傾向を示してゐる。

第一表

自大正七年
至大正九年 三箇年間従業員に對する榮養器病患者比較表

區分	職別	年次			計	平均
		大正七年	大正八年	大正九年		
延 人 員	車 掌	1,007,431	1,147,750	1,419,331	3,574,512	1,191,504
	運 轉 手	728,032	826,790	1,050,322	2,605,144	868,381
	信 號 人	17,095	20,039	16,179	53,313	17,771
	職 工	552,493	737,395	855,281	2,145,169	715,056
	工 夫	249,529	268,281	328,202	846,012	282,004
	雜 役 夫	140,487	146,470	180,005	466,962	155,654
	其 他	22,689	21,987	147,431	192,107	64,036
	計	2,717,756	3,168,712	3,996,751	9,883,219	3,294,406
延 人 の 疾 病 に 罹 り し 者 の 員	車 掌	10,816	19,944	21,875	61,635	20,545
	運 轉 手	14,252	14,042	15,282	43,576	14,525
	信 號 人	354	253	244	851	284
	職 工	10,407	11,235	11,886	33,528	11,176
	工 夫	2,204	1,803	2,812	6,819	2,273
	雜 役 夫	1,854	1,250	1,574	4,678	1,559
	其 他	209	267	2,824	3,300	1,100
	計	49,096	48,794	56,497	154,387	51,462
榮 養 器 病 患 者 延 人 員	車 掌	4,565	4,722	4,540	13,827	4,609
	運 轉 手	3,285	3,377	3,458	10,120	3,373
	信 號 人	74	60	29	163	54
	職 工	1,708	2,202	2,597	6,507	2,169
	工 夫	387	347	474	1,208	403
	雜 役 夫	378	221	282	881	294
	其 他	61	82	632	775	258
	計	10,458	11,011	12,012	33,481	11,160
從 業 員 對 榮 養 器 病 比	車 掌	45.3	41.1	32.0		38.7
	運 轉 手	45.1	40.8	32.9		38.8
	信 號 人	43.3	29.9	17.9		30.6
	職 工	30.9	29.9	30.4		30.3
	工 夫	15.5	12.9	14.4		14.3
	雜 役 夫	26.9	15.1	15.7		18.9
	其 他	26.9	37.3	42.9		40.3
	計	38.5	34.7	30.1		33.9
罹 患 者 對 百 分 榮 養 器 病 比	車 掌	23.0	23.7	20.8		22.4
	運 轉 手	23.0	24.0	22.6		23.2
	信 號 人	20.9	23.7	11.9		19.2
	職 工	16.4	19.6	21.8		19.4
	工 夫	17.6	19.2	16.9		17.7
	雜 役 夫	20.4	17.7	17.9		18.8
	其 他	29.2	30.7	22.4		23.5
	計	21.3	22.6	21.3		21.7

四、總 結 論

- (一) 榮養器病の多く出る職業は、運轉手、車掌及び職工にして、最も少きは工夫である。而て傭員や守衛、給仕、小使の一群にも本病者の甚多きは注意せねばならぬ。
- (二) 季節的關係は總數より見れば春、夏、秋の三季に高く、就中七、八の兩月が最も罹病率高く、之に反して嚴冬中は少い。
- (三) 併乍ら他の疾病との割合を見るときは、季節的の變動は比較的少い方で、たゞ春と、夏との兩期に多少増加の傾向を示してゐる。これ榮養器病の患者は、四季を通じて常に多きこと、しかも亦それが多少同時季にも關係あることの兩者を語るものである。
- (四) 平素、罹病率の低き工夫も、本病には多く罹り易きことを留意せねばならぬ。
- (五) 乗務員に於ける本病者の多大なるは、當にその從業上の關係が少くないと認める。
- (六) 尙、委細は上述の各表及び第六表を見られよ。以上

1月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

2月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

3月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

4月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

5月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

6月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

7月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

8月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

9月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

10月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

11月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

12月

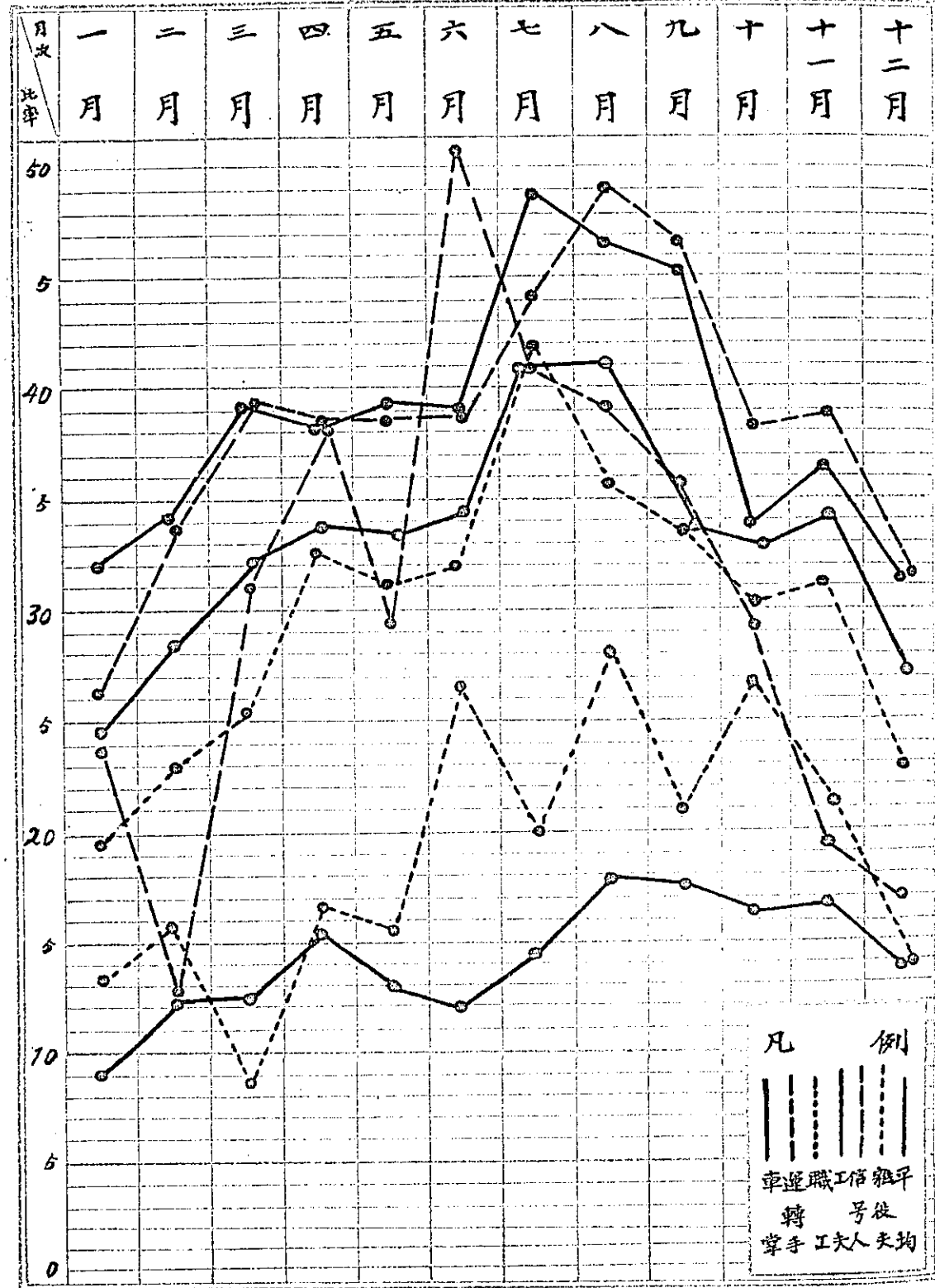
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12

第二表 自大正七年三箇年に於ける全従業員之樂養器病患者之の百分比率表

職別	月別												合計
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
全従業員	279,186	285,482	279,031	275,310	288,858	288,240	303,397	308,698	305,250	327,670	322,200	337,500	3,574,512
	896	885	1,098	1,465	1,140	1,126	1,452	1,443	1,385	1,110	1,176	1,061	13,827
樂養器病患者比%	0.321	0.312	0.394	0.532	0.395	0.391	0.479	0.467	0.454	0.339	0.365	0.314	38.7
運手	201,438	186,522	204,533	200,250	210,056	209,310	219,846	224,874	222,000	240,095	236,820	249,395	2,605,144
	532	633	807	775	810	814	975	1,105	1,036	923	923	788	10,120
樂養器病患者比%	26.4	33.9	39.5	38.7	38.6	38.9	44.3	49.1	46.6	38.4	39.0	31.6	38.8
信託	4,650	3,890	4,495	4,170	4,402	4,350	4,619	4,340	4,200	4,805	4,680	4,712	53,313
	11	5	14	16	13	22	19	17	15	14	9	8	163
樂養器病患者比%	23.7	12.9	31.1	38.4	29.5	50.6	41.1	39.2	35.7	29.1	19.2	17.0	30.6
職工	161,386	152,488	166,617	162,120	167,338	167,520	174,313	186,651	212,580	199,454	194,040	200,602	2,145,169
	315	351	423	534	524	538	733	670	719	640	603	475	6,507
樂養器病患者比%	19.5	23.0	25.4	32.9	31.3	32.1	42.1	35.9	33.8	30.3	31.1	22.8	30.3
工夫	68,665	65,448	71,599	65,190	69,039	68,280	72,633	71,703	75,290	75,454	73,800	68,551	846,012
	62	80	88	100	89	82	105	128	132	124	132	95	1,908
樂養器病患者比%	9.0	12.2	12.3	15.3	12.9	12.0	14.5	17.9	17.5	16.4	16.7	13.8	14.4
雑役	36,859	34,248	37,324	38,490	40,517	34,830	42,966	42,067	43,140	34,939	34,650	46,872	466,962
	49	54	32	64	63	93	86	118	90	94	73	65	881
樂養器病患者比%	13.3	15.8	8.6	16.6	15.5	26.7	20.0	28.1	20.9	26.9	21.1	13.9	18.9
給仕	1,395	1,288	1,395	1,320	1,333	1,320	1,364	2,317	2,730	3,844	3,960	3,100	25,866
	5	1	6	3	3	3	19	16	23	12	28	12	131
樂養器病患者比%	35.8	7.8	43.0	22.7	22.5	22.7	139.3	56.8	84.2	31.2	70.7	38.7	50.6
小使	4,464	4,154	4,657	4,630	4,371	3,810	4,743	15,774	16,500	34,668	33,180	35,435	166,241
	6	14	14	5	10	16	8	54	107	132	172	106	644
樂養器病患者比%	13.4	33.7	30.7	11.0	22.9	42.1	16.9	34.2	64.8	38.1	51.8	29.9	38.7
全従業員	758,043	706,520	769,556	751,980	785,974	777,660	823,881	856,829	881,660	920,979	903,330	946,677	9,883,219
	1,876	2,023	2,482	2,552	2,652	2,694	3,397	3,551	3,506	3,049	3,107	2,592	33,481
樂養器病患者比%	24.7	28.6	32.3	33.9	33.7	34.6	41.2	41.4	33.9	33.1	34.3	27.4	33.9

第三表

自大正七年
至大正九年 榮養器病對全從業員萬分比率表



凡例
 平級工
 轉號工
 車運工
 掌手工

Category	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
平級工	18	12	12	10	12	12	15	18	18	15	15	12
轉號工	25	22	25	28	25	28	20	28	22	25	22	25
車運工	32	35	38	35	38	38	42	42	38	35	35	32
掌手工	35	38	39	38	39	52	48	48	45	38	38	35

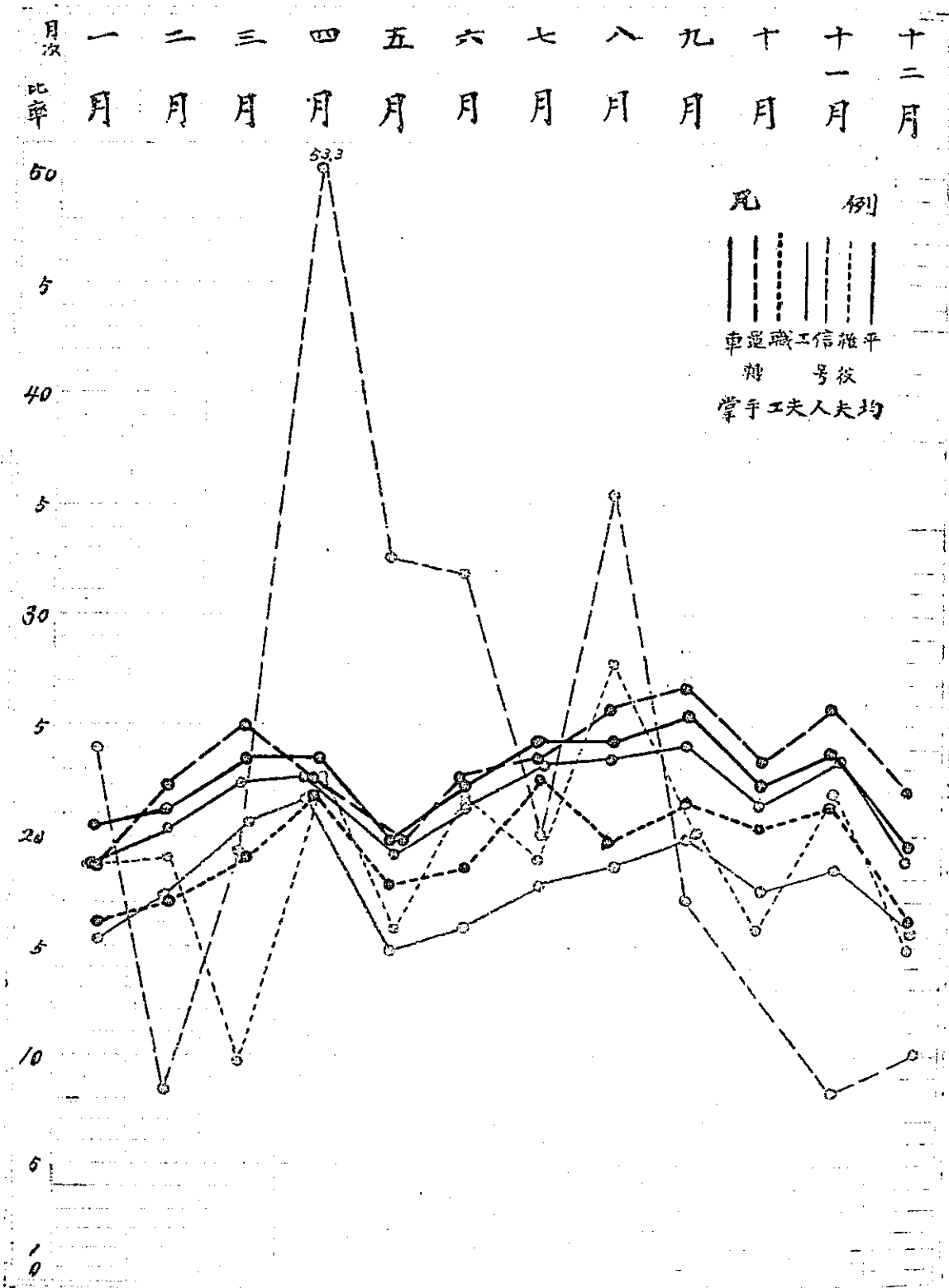
第四表

自大正七年三月至九年三月に於ける全患者と榮養器病患者との百分比率表

職別	月別												計	
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
車掌	全患者	4,410	4,186	4,710	4,530	5,758	5,103	6,022	5,486	5,477	5,021	4,967	5,461	61,635
	榮養器病患者比	896	885	1,098	1,055	1,140	1,126	1,452	1,443	1,385	1,110	1,176	1,061	13,827
運手	全患者	2,883	2,852	3,231	3,426	4,085	3,610	4,172	4,297	3,875	3,972	3,571	3,602	43,576
	榮養器病患者比	532	633	807	775	810	814	975	1,105	1,035	923	923	788	10,120
信託人	全患者	46	60	73	30	40	60	100	48	88	107	110	80	851
	榮養器病患者比	11	5	14	16	13	22	19	17	15	14	9	8	163
職工	全患者	1,966	2,063	2,232	2,449	2,954	2,943	3,252	3,395	3,390	3,187	2,849	2,561	33,528
	榮養器病患者比	315	351	423	534	524	538	733	670	719	640	603	457	6,507
工夫	全患者	407	457	428	461	598	517	532	692	664	713	669	610	6,819
	榮養器病患者比	62	80	88	100	89	82	105	128	132	124	123	95	1,908
雑役	全患者	15.2	17.1	20.6	21.7	14.9	15.9	17.7	18.5	19.9	17.4	18.4	15.6	17.7
	榮養器病患者比	254	284	331	283	402	428	454	425	449	589	334	435	4,678
給小使	全患者	20	5	29	19	15	21	38	76	184	135	168	119	838
	榮養器病患者比	5	1	6	3	3	3	19	16	23	12	28	12	131
傭員	全患者	17.2	20.0	20.7	15.8	20.0	14.3	50.0	21.1	12.5	8.9	16.7	10.1	15.6
	榮養器病患者比	20	22	57	29	47	35	25	190	408	472	627	530	2,462
計	全患者	10,025	9,939	11,035	11,227	13,899	12,726	14,656	15,109	14,535	14,196	13,292	13,688	154,387
	榮養器病患者比	1,876	2,023	2,482	2,552	2,652	2,694	3,397	3,551	3,506	3,049	3,107	2,592	33,481
		18.7	20.4	22.4	22.7	19.1	21.2	23.2	23.5	24.1	21.5	23.4	18.9	21.7

第五表

自大正七年
至大正九年 榮養器病對全患者百分比率表



月次	平均	雜工	職工	車掌	手藝
一月	25	18	22	15	35
二月	28	15	25	12	30
三月	30	18	28	10	35
四月	32	25	30	20	50
五月	25	20	28	15	35
六月	28	22	30	18	35
七月	30	25	32	20	35
八月	32	28	35	22	45
九月	30	25	32	20	35
十月	28	22	30	18	35
十一月	30	25	32	20	35
十二月	25	18	22	15	35

病名	月										計	全從業員	全患者	全患者の百分率			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
齒痛及腫痛	4	20	8	20	13	16						127	261	84,728	1,218	30.8	21.4
喉痛及腫痛												134	187	61,029	842	26.0	18.9
喉痛及腫痛												72	150	1,209	15,579	48.7	
喉痛及腫痛												6	7	44,144	673	22.9	15.0
喉痛及腫痛												6	6	20,401	141	13.2	10.1
喉痛及腫痛												11	16	12,245	105	22.0	25.7
喉痛及腫痛												14	15	434			
喉痛及腫痛												9	30	1,519			
喉痛及腫痛												202	582	225,804	2,994	23.8	19.4
計	8	48	8	48	101	165	4	6	43	38	1	1	4	16	10	3	3

四

病名	月										計	全從業員	全患者	全患者の百分率			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
齒痛及腫痛	1	11	3	10	2	13						156	268	78,690	1,416	43.4	25.5
喉痛及腫痛												188	268	67,720	1,009	46.4	24.5
喉痛及腫痛												171	171	1,200	140	17.0	30.2
喉痛及腫痛												1	1	42,870	77	40.6	22.5
喉痛及腫痛												65	100	21,120	178	17.0	30.2
喉痛及腫痛												27	38	11,520	101	18.2	20.8
喉痛及腫痛												6	15	430			
喉痛及腫痛												1	1	1,470	17	0.8	5.0
計	4	23	2	23	3	4			2	11	1	1	2	11	8	4	4

七

病名	月										計	全從業員	全患者	全患者の百分率			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
齒痛及腫痛	1	5	2	5	2	7						285	522	81,816	2,076	62.7	25.6
喉痛及腫痛												276	140	61,501	1,594	53.5	24.1
喉痛及腫痛												189	292	1,302	76	69.1	11.8
喉痛及腫痛												77	106	45,198	981	42.4	20.0
喉痛及腫痛												110	196	21,576	178	19.9	24.9
喉痛及腫痛												26	43	11,811	211	32.2	18.4
喉痛及腫痛												17	21	434			
喉痛及腫痛												3	6	1,519			
喉痛及腫痛												4	4	228,100	4,907	50.8	22.6
計	1	12	7	12	4	4			4	7	1	1	4	7	10	8	7

十

病名	月										計	全從業員	全患者	全患者の百分率			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
齒痛及腫痛	1	1	3	1	3	1						197	414	89,092	1,812	46.5	22.5
喉痛及腫痛												217	217	63,829	1,457	50.8	22.2
喉痛及腫痛												121	324	1,938	39	20.5	10.3
喉痛及腫痛												203	324	1,017	41.4	30.9	
喉痛及腫痛												1	4	51,400	156	11.0	12.4
喉痛及腫痛												73	213	29,894	158	30.3	18.2
喉痛及腫痛												8	23	11,811	138	30.3	18.2
喉痛及腫痛												9	30	431			
喉痛及腫痛												1	1	1,581			
計	1	1	3	1	3	1						5	6	240,994	4,765	42.3	21.4

合

病名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
齒痛及腫痛	21	21	44,547	2,167	1	9	49	1,249	221	4	14,461
喉痛及腫痛	16	16	74,718	2,498		1	1,344	221	5	12	50,232
計	37	37	119,265	4,665	1	10	1,593	2,470	262	16	64,693

從業員に對する養器病患者表

Table 1: Health status of employees in March. Columns include disease names (e.g., 肺病, 胃腸病), counts, and cumulative statistics. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

Table 2: Health status of employees in April. Columns include disease names, counts, and cumulative statistics. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

Table 3: Health status of employees in May. Columns include disease names, counts, and cumulative statistics. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

Table 4: Health status of employees in June. Columns include disease names, counts, and cumulative statistics. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

Table 5: Health status of employees in July. Columns include disease names, counts, and cumulative statistics. Includes a '計' (Total) row at the bottom.

藥 員 に 對 す る 藥 養 器 病 患 者 表

Table for April (四 月) showing patient statistics for various diseases. Columns include disease names, patient counts, and financial data.

Table for May (五 月) showing patient statistics for various diseases. Columns include disease names, patient counts, and financial data.

Table for June (六 月) showing patient statistics for various diseases. Columns include disease names, patient counts, and financial data.

Table for July (七 月) showing patient statistics for various diseases. Columns include disease names, patient counts, and financial data.

Summary table for April (四 月) with aggregated patient counts and financial data.

Summary table for May (五 月) with aggregated patient counts and financial data.

從業員に對する樂養器病患者表

病名	月										計	全 從 業 員	全 患 者	全 體 患 者 の 百 分 比
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
胃腸病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10	100.0
肝臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
腎臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
肺病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
心臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
糖尿病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
高血圧	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
脳血管病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
精神病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100	100	100.0	

病名	月										計	全 從 業 員	全 患 者	全 體 患 者 の 百 分 比
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
胃腸病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10	100.0
肝臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
腎臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
肺病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
心臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
糖尿病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
高血圧	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
脳血管病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
精神病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100	100	100.0	

病名	月										計	全 從 業 員	全 患 者	全 體 患 者 の 百 分 比
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
胃腸病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10	100.0
肝臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
腎臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
肺病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
心臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
糖尿病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
高血圧	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
脳血管病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
精神病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100	100	100.0	

病名	月										計	全 從 業 員	全 患 者	全 體 患 者 の 百 分 比
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
胃腸病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10	100.0
肝臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
腎臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
肺病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
心臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
糖尿病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
高血圧	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
脳血管病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
精神病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100	100	100.0	

病名	月										計	全 從 業 員	全 患 者	全 體 患 者 の 百 分 比
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
胃腸病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10	100.0
肝臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
腎臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
肺病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
心臓病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
糖尿病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
高血圧	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
脳血管病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
精神病	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10	10.0	
計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100	100	100.0	

一		二	
姓名	年齢	性別	職業
山田 太郎	35	男	工場長
田中 次郎	42	男	技師
鈴木 一郎	28	男	運転手
高橋 三郎	55	男	監督
斎藤 五郎	30	男	検査員
山本 七郎	40	男	主任
水谷 八郎	25	男	作業員
石川 九郎	50	男	班長
森田 十郎	38	男	主任
松本 十一郎	45	男	技師
野村 十二郎	32	男	検査員
三宅 十三郎	48	男	監督
高橋 十四郎	27	男	作業員
橋本 十五郎	52	男	班長
石川 十六郎	36	男	主任
森田 十七郎	43	男	技師
松本 十八郎	29	男	検査員
野村 十九郎	47	男	監督
三宅 二十郎	26	男	作業員
高橋 二十一郎	51	男	班長
橋本 二十二郎	34	男	主任
石川 二十三郎	41	男	技師
森田 二十四郎	24	男	検査員
松本 二十五郎	46	男	監督
野村 二十六郎	23	男	作業員
三宅 二十七郎	49	男	班長
高橋 二十八郎	33	男	主任
橋本 二十九郎	44	男	技師
石川 三十郎	22	男	検査員
森田 三十一郎	45	男	監督
松本 三十二郎	21	男	作業員
野村 三十三郎	48	男	班長
三宅 三十四郎	31	男	主任
高橋 三十五郎	42	男	技師
橋本 三十六郎	20	男	検査員
石川 三十七郎	45	男	監督
森田 三十八郎	29	男	作業員
松本 三十九郎	47	男	班長
野村 四十郎	32	男	主任
三宅 四十一郎	43	男	技師
高橋 四十二郎	25	男	検査員
橋本 四十三郎	46	男	監督
石川 四十四郎	28	男	作業員
森田 四十五郎	49	男	班長
松本 四十六郎	35	男	主任
野村 四十七郎	41	男	技師
三宅 四十八郎	23	男	検査員
高橋 四十九郎	45	男	監督
橋本 五十郎	27	男	作業員

大正七年初より
同九年末に至る 従業員の疾病調査

其の六

(泌尿生殖器病の部)

一、泌尿器病及び生殖器病の種類

泌尿生殖器病は、花柳病と密接の關係あるを以て、其の分類上にも截然たる區別の困難なることが多いが、
今姑く花柳病と診定されたるものは、別に一類を立て、こゝには其の他に屬すとすべき生殖器病及び泌尿
器疾患を共濟組合所定の分類表によりて、左の如く別つこととした。(第六表参照)

- 1 急性及慢性腎炎
- 2 萎縮腎
- 3 膀胱炎
- 4 攝護腺病
- 5 尿道狹窄
- 6 包皮病
- 7 睪丸、副睪丸病
- 8 陰囊水腫

一、泌尿生殖器患者と總従業員との關係 (第一表參照)

其の一、従業員との關係

- (一) 總従業員一萬人に對して、泌尿生殖器病者は一・五。
- (二) 職業別に見れば、本病の最も多く出るのは雜役夫で萬分の二・〇。次は雇員や守衛や監督等にて、萬分の一・七。
- (三) 乗務員に於ける本病者は、右に亞ぎて多く、車掌、運轉手の孰れも萬分の一・六。
- (四) 之に亞ぎて多きは職工にして、萬分の一・二。
- (五) 泌尿生殖器病の最も少きは信號人と工夫にて夫れ、萬分の〇・四及び〇・六である。
- (六) 之を要するに本病に對して、その罹病率の最も高きは雜役夫や雇員、守衛、監督や乗務員にて、その最も低き信號人及び工夫である。但、信號人に於ける罹病状態は、後文に記す如く、極めて不規律にて、右の如き數字の上では、直ちにその判定を下し難く、獨り、工夫が低率と認むべく、そして乗務員は平均型と見てよい。

其の二、總患者との關係 (第一表參照)

- (一) 總患者中に對する本病者は百分の〇・九。
- (二) 職業別に見るときは、最高率は雜役夫にありて、百分の二・〇。次は乗務員である。就中、運轉手は一・〇。車掌は〇・九で、つまり車掌は平均値に等しい。
- (三) 之に次ぎて多きは職工で〇・八。
- (四) 最も低率なのは信號人にして〇・二。その上工夫で〇・七。
- (五) 之を要するに泌尿生殖器病が總患者中に存する割合は、雜役夫や乗務員に多く、信號人や工夫に少い。而て車掌がその代表者と見做し得る。

三、泌尿器病及び生殖器病と月次との關係

一、總従業員との關係 (第二表及び第三表參照)

- (一) 本電氣局に於ける泌尿生殖器病者の發生比率は常に比較的低くして、且季候上にも特に認むべき點はなく、たゞ幾分夏季中に同病者發生の増加する傾向が見える。
 - (二) その平均値につきて觀察するに、最高率を示す月は七月と八月とで夫れ、一・九と一・八とである。
- 二、右の各職業別との關係
- (一) 職業別に觀察すれば、本病に對しては平均型と不定型との二大別を認める。その平均型に屬するも

のは、車掌、運轉手及び職工にして、一群をなし、不定型の中にはまた比較的高率型の雑役夫と比較的低率型の工夫と、それから全然不規則なる信號人などを區別し得る。

(二) 平均型中でも、最も平均曲線に近いのは車掌にして、その最高率を示す月は七月で萬分の二・四。最低率は一月で〇・九。

(三) 運轉手に於いては、最高が九月で二・四。最低は一月で一・一。

(四) 工夫は七月が最高で一・四。三月が最低で零。

(五) 雑役夫に於いては、その變動高低が殆、各月に著しくして、僅かに二、三、四、五の晩冬、春暖の時のみ、稍、停滞するに過ぎない。

(六) 信號人に於ける變差は最も劇しくして、最高は九月の二・四。その他の一、二、四乃至八、及び十一、十二月の各月が零である。故に此の線を見ては、未だ何等の判定も敢てし得ない。

(七) 右六項を約するに、

(1) 泌尿生殖器病には、平均型、不定型の二種ありて、車掌、運轉手及び職工が前者に屬する。就中、車掌を以て一般の代表者と見做し得る。

(2) 工夫は本病に對して安全なる情態にある。

(3) 四季を通じて一般に夏期に本病多く、冬期に少い。

三、全罹病従業員との關係 (第四表及び第五表参照)

(一) 總罹病者との關係に於いては、本病の存在する割合は、一年を通じて著しき變化なく、その最高は十二月で百分の一・二。最低は一及二月の〇・七である。

(二) 本病は季節と關係少くして、寧ろ、週期的に、即、二、三ヶ月毎に消長する形式と認められる。

四、右の各職業別との關係

(一) 職業別に見るときは、前と同様に車掌、運轉手及び職工の一群が平均型を成し、爾餘の三種は不定型に屬する。その中でも雑役夫は高率型であり、工夫が低率型であること、總従業員に於ける時の關係と同様である。

(二) 車掌に於ける曲線は平均曲線に最も近く、而て最高率は六、七兩月にありて各、百分の一・二。最低率は一月で百分の〇・六。

(三) 運轉手に於ける最高率は九月の一・四。最低率は五月の〇・七。

(四) 工夫に於ける最高率は七月で一・七。最低率は三月で零。

(五) 雑役夫の本病發生率は甚しき變差を示して、最高は一月の三・四。最低は七月の〇・九。その間の起伏消長にも何等の季節的關係を認めず、寧ろ隔月に交代の形式である。

(六) 信號人に於いても右と同様で、最高は三月の一・四。最低は一、二、四乃至八及び十、十一、十二の各